

新庁舎整備予算の圧縮を



鷺野 聡明 議員

質問

庁舎関連総事業費が53億円と公表された。検討事項を積み残したまま、性急に予算計上、発注へと進めるのは問題が多い。

市は統合庁舎建設・改修基本設計案における市民の意見募集を行った結果、20人(58件)から意見が寄せられ、予算圧縮の声が多かった。

追加設備など7億6千300万円を議会で十分議論した上で、コスト削減を進めるべきではないか。当初計画の35億円への予算圧縮に努めて、多

愛西市 基金残高・市債残高一覧表



単位:百万円

| | 17年度末 | 18年度末 | 19年度末 | 20年度末 | 21年度末 | 22年度末 | 23年度末 |
|------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 基金残高 | 9,457 | 10,204 | 11,320 | 12,817 | 13,337 | 13,932 | 15,493 |
| 市債残高 | 21,275 | 23,580 | 25,307 | 26,549 | 27,568 | 28,994 | 30,482 |

※一般会計・特別会計・企業会計の合計額(ただし、土地開発基金の土地は除く)

くの市民への説明、理解を得ることが大切だと思う。

検討事項として、①追加設備費②新庁舎の維持管理費③立田・八開・佐織庁舎の活用方法④コスト削減への発注方法について問う。

総務部長

コスト削減策は今後予算を認めてもらった中で、発注していくまでに内容などを再度精査したい。いろいろな指摘を

されているので、執行部側で見直すべきところは見直したい。

庁舎の維持管理費は早急に作業を進めている。

立田・八開・佐織庁舎の活用方法は、「支所の整備計画書」を議会に配布しており、整備計画でも4億9千万円を予定している。

コスト削減の発注方法については現在決めていない。

副市長

53億円からどれだけ削れるかといった議論を、早い機会にやっていきたい。

市長

副市長の答弁のとおりである。今回のことで、この後、幹部会を招集する。再度自分の考え方を幹部に伝えて、きちんとさせたいと思っている。

議会の意見を十分聞きながら努力したい。

質問

平成27年3月、合併10年目の借金の見直しは。

企画部長

23年度の市債の合計は304億円。27年3月に、基金・市債がいくらかというシミュレーションは行っていない。

公共料金の統一方針は

質問

市民の公平・平等性からも公共料金の統一を求める声もあるが、市の方針は。

23年度愛西市水道企業会計決算では、損失が1千293万円。原因と対策は。

上下水道部長

3・11の災害以降、佐織浄水場の井戸の必要性、重要性を認識し、継続してこの井戸

を利用したい。水道料金については、19年9月に改定をしている。すでに5年経過し、近い将来、料金改定を検討する。

人口の減少、節水意識の高まり、費用面では施設更新に伴なう企業債の利息償還増加、浄水場の修繕などがかさんで前年度より赤字が多くなった。